

【H23 年・前期学期・ミクロ経済学 III・課題 1】

☆締め切り：平成 23 年 5 月 31 日 講義時間中

【問 1】次の (1) ～ (5) の 2 直線をそれぞれ異なるグラフに示し、これらを連立方程式とした場合の解を求めなさい。また、解を作成したグラフ上に表わしなさい。

$$(1) \quad \begin{cases} Y = 18 - 3X \\ Y = 1 + 2X \end{cases}$$

$$(2) \quad \begin{cases} Y = 18 - 3X \\ Y = 1 + 2X \end{cases}$$

$$(3) \quad \begin{cases} Y = 18 - 3X \\ Y = 1 + 2X \end{cases}$$

【問 2】次の文章が正しい文章か、誤った文章かを判断し、誤った文章の場合にはなぜ誤りか 4 行程度で正しい文章に改めなさい。

- (1) 実証経済学では、政府は公共事業に予算を増やし、経済を下支えするべきであるというような、論議をする。
- (2) 経済学の分析では、複数の変数が同時に変化した場合の経済的な帰結（結果）を一度に分析する。
- (3) 経済学では、現実の経済をできるだけ正確に描写することが大切である。

【問 3】もっと簡単な経済循環図について次の(A)～(C)について答えなさい。

- (A) もっとも簡単な経済循環図を作図しなさい。
- (B) (A)で書かれたそれぞれの市場で、それぞれの経済主体がどのような役割を果たすか、言葉で説明しなさい。
- (C) 一般に生産（投入）要素にはどのようなものが含まれるかを 4 つに分類し述べなさい。